

《教科：音楽 対象：中学生》

新学習指導要領準拠

日本の伝統音楽「雅楽」。その魅力の一つは箏篋の素晴らしい音色です！

人気急上昇の箏篋。それは実際に手に触れてみることから始まる。

雅楽演奏で主旋律を奏し、最も心地のよい音色をかなでる箏篋は、夢をさそう楽器なのです。

文部科学省選定

発見!! ひちりき 箏篋の魅力

上映時間20分



中学生による代替楽器演奏



指導

小島美子

国立歴史民俗博物館名誉教授

芝祐靖

伶楽舎音楽監督

国立音楽大学招聘教授

藤井知昭

中部高等学術研究所副所長教授

国立民族学博物館名誉教授

寺田己保子

東京都立国際高等学校教諭

撮影協力 伶楽舎
埼玉県川越市立川越第一中学校

雅楽演奏：伶楽舎



講師：中村仁美
ナレーター：塩見智子

製作：八頭司 享 / 監督：原田 隆司

制作協力：財団法人日本視聴覚教育協会

制作：共和教育映画社

文部科学省選定

発見!!

ひらりき

箏箏の魅力



新学習指導要領において中学校の音楽では「和楽器については、3年間通して、1種類以上の楽器を用いること」とされています。和楽器を用いた音楽の代表、雅楽。その雅楽での主旋律を受け持ち、最近ブームになり最も魅力的で、かつ心地良い音色を持つ”箏箏”。

『雅楽と箏箏』それは生徒達にとって生涯にわたってかけがえのない存在になる可能性を秘めています。

その魅力を音と映像で伝え、生徒達が興味をもち、実際に手に触れてみる
ところから始まる教材ビデオです。

(上映時間20分)

内容

●箏箏はどのような音がするのでしょうか！

心地よい音色が響きわたる。その音は高く、ある時は低く波打つように辺りを包み込んでいきます。その美しい箏箏の音色を真剣に興味深く聴き入る中学生……。じっくりと聴いてください。

●とにかく手にとり吹いてみよう

和楽器の魅力を知るには実際に楽器を手にとり、音を出して試みることから始めるのが大切なことです。初めはたどたどしい楽器の操作も、基本の奏法を身に付ければすぐに音が出るようになり、徐々に表情豊かな響きになっていきます。

●箏箏はどんな楽器

箏箏の本体は竹で出来ていて、そこに芦を削ったダブルリードを付けます。楽器全体の音域は狭いのですが、同じ指の位置でも唇や息の調節によって、上下に全音ぐらいの幅の音程を作り出すことが出来ます。

●雅楽と箏箏

雅楽は奈良時代以降宮廷を中心とした貴族社会で行われた音楽で、管絃と舞楽に大別されます。箏箏は、雅楽にとっては主旋律を奏する最も重要な楽器です。

●箏箏の歴史

箏箏のルーツは中近東にあると考えられています。そこからシルクロードを通り中国に入りました。

その長い年月と旅の中、それぞれの国の人々によって少しずつ形や音色を変え、日本にやってきました。そして日本人好みの箏箏として現在に至っています。

●箏箏に挑戦！

楽しみながら吹いてみよう。

代替楽器による雅楽の名曲《越天楽》を、生徒達が実際に演奏します。さあ、みんなも楽しく気軽に吹いてみよう！



ビデオ版 ¥54,000 学校価格 ¥18,000 (税別)

共和教育映画社

〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路 6-4-111

延原倉庫 淡路物流センター

TEL 06-6322-1800 FAX 06-6322-2255